

今あらためて「平和」を考える



2025年11月1日(土)
13時30分～16時20分

Month for the Culture of Peace
平和文化月間



放送大学広島学習センター 大講義室(3階)

広島市中区東千田町1-1-89(広島大学東千田キャンパス内)

※広島大学東千田キャンパスの駐車場は有料です。公共交通機関をご利用ください。



定員 先着50名
参加無料:要予約



13時35分～14時45分

広島赤十字・原爆病院
の原爆救護－被爆直
後とその後の対応につ
いて－

講師：古川 善也先生
(広島赤十字・原爆病院院長)



原爆にて爆心地から半径2km以内の木造建築物は倒壊したが、鉄筋コンクリート造りの広島赤十字病院は倒壊を免れた。このため、当院には多くの被爆者が押し寄せ、被爆直後より医療提供を行ってきた。今回、被爆当時の原爆救護の実態とその後の対応について報告する。



14時55分～16時05分

原爆後障害の概要、
そして残された課題：
「いのち」、「こころ」、
「くらし」の視点から

講師：川野 徳幸先生
(広島大学理事補佐(平和
担当)・平和センター教授)



原爆による後障害の概要について、健康面(いのち)・精神面(こころ)・社会経済生活面(くらし)の三つの視点から報告する。また、残された課題とこれからの「ヒロシマ」の役割についても若干お話したい。

放送大学広島学習センター文化祭
10:00～17:00 小講義室で同時開催

お申込み先

放送大学広島学習センター

TEL: 082-247-4030(月曜・祝日を除く)

